

平成31年3月29日

河南町長 武田 勝 玄 様

ワークショップ代表
南加納地区長 桐石 明

「町立白木小学校跡地活用ワークショップ」報告書

町立白木小学校は、明治20年4月に加納尋常小学校として創立して以来、実に131年間も私たちの地域における教育の拠点として、人材育成の場として、かけがえのない「心のよりどころ」として存在してきました。

この度、その歴史に幕が下ろされることになり、私たち地域住民は残念な気持ちを抱きつつも、学校でのたくさんの思い出や感謝の気持ちを思い出し、改めて白木小学校の尊さを感じております。

このようにたくさんの思い出と歴史が詰まった白木小学校の跡地利用について、昨年10月に各対象地区の区長様にご協力していただき、平成30年10月17日（水）、30名の構成員により第1回目のワークショップを開催いたしました。これまで5回のワークショップを通じて、地域が抱えている課題を出し合い、私たちがやれること、やるべきことについて、多様な協働先の強みを思い描きながら事業案を検討した結果、別添のとおりテーマごとに5つの事業案として取りまとめることができましたのでご報告します。

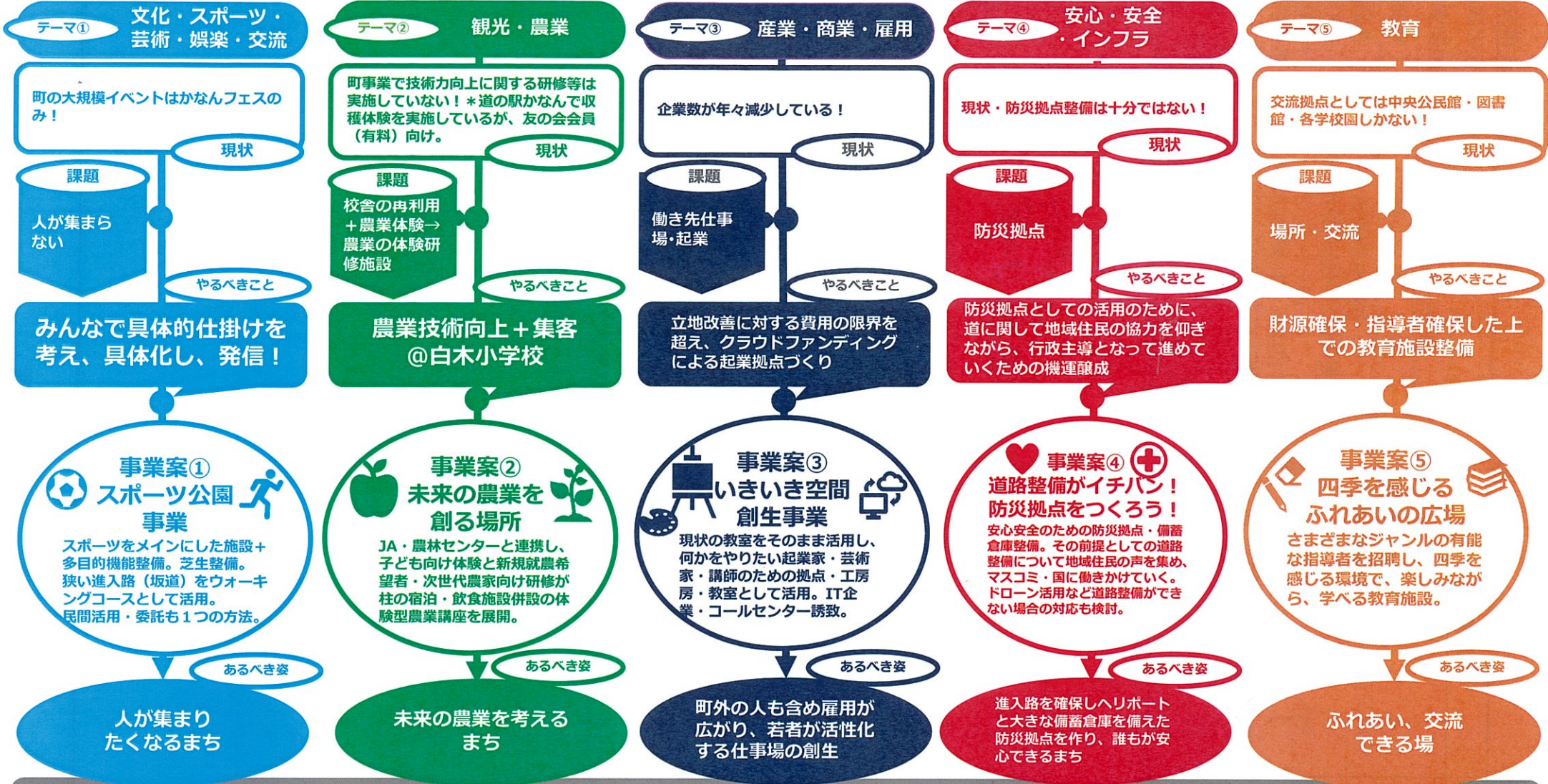
今後とも、町立白木小学校の跡地が地域にとってまた、河南町にとって有意義な活用方法となるよう、私たち地域住民と町行政が手を取り合い進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

町立白木小学校統合に伴う跡地利用検討ワークショップ

- 5回にわたって、ワークショップを実施し、相互理解を図り、テーマを設定し、テーマ毎にやるべきことを明確化し、事業案を検討。最終回は事業案の発表会を実施し、企業・NPO団体などから逆提案を受け、事業案をブラッシュ・アップさせました。

回	実施日	プログラム	概要
1	平成30年 10月17日 (水)	相互理解	参加者間で、地域活動における成功や困難、想いを語っていただき、共有・共感することで、それぞれの立場・見解を理解しました。
2	平成30年 11月14日 (水)	テーマの設定	町立白木小学校跡地利用についてのあるべき姿と現状を比べることで、課題を明らかにし、それぞれの取り組みを振り返り、テーマを導き出しました。
3	平成30年 12月26日 (水)	やるべきことの明確化	テーマごとのそれぞれの課題、取り組みについて、より認識を深め、「やるべきこと」を明らかにしました。
4	平成31年 1月23日 (水)	事業案の検討	テーマごとに明らかになった「やるべきこと」を実現するために、自分たちの強みや多様な協働先の強みを思い描きながら、事業案を検討しました。
5	平成31年 3月13日 (水)	発表会・交流会	テーマごとに検討された事業案をプレゼンし、企業、大学・学校、NPO法人などからの協力・意見を取り入れることで実施の可能性をアップさせました

町立白木小学校統合に伴う跡地利用検討ワークショップに基づく事業案



事業案①～⑤の統合案・民間活力活用および道路整備できないことを活かせる可能性